

特別委員会の活動報告

議会日誌

1月15日以降の議会活動の紹介です。
※主な会議(4月15日開催まで)を掲載

1月

- 16日 公共交通対策特別委員会
広報広聴特別委員会
- 18日 総務文教常任委員会
議会改革推進特別委員会
- 20日 都市基盤整備対策特別委員会
- 24日 環境対策特別委員会
- 25日 環境厚生常任委員会
公社土地処理問題調査特別委員会
- 26日 議員研修・全員協議会
- 30日 総務文教常任委員会
産業建設常任委員会

2月

- 1日 平和人権対策特別委員会
- 9日 議会運営委員会
広報広聴特別委員会
- 10日 公社土地処理問題調査特別委員会
議会報告会
- 13日 公共交通対策特別委員会
環境厚生常任委員会
- 16日 第1回臨時会・議会運営委員会
総務文教常任委員会
- 20日 産業建設常任委員会
- 21日 議会改革推進特別委員会
環境対策特別委員会
総務文教常任委員会
- 22日 広報広聴特別委員会
- 23日 公社土地処理問題調査特別委員会
- 24日 議会運営委員会

3月

- 2日 3月定例会開会
- 6日 広報広聴特別委員会
総務文教常任委員会
- 10日 一般質問(土曜日開催)
- 12日 一般質問・議会運営委員会
- 13日 一般質問・議会運営委員会
広報広聴特別委員会
- 14日～ 本会議
- 15日 議会運営委員会
各常任委員会
- 16日～ 予算特別委員会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 議会運営委員会
- 29日 予算特別委員会
各常任委員会
議会運営委員会
定例会閉会
広報広聴特別委員会

3月定例会
会期

4月

- 4日 全員協議会
総務文教常任委員会
- 9日 広報広聴特別委員会
- 10日 公社土地処理問題調査特別委員会
全員協議会

各会議の会議録や会議資料は、
市役所情報コーナー、市議会
ホームページで公開しています。

環境対策特別委員会は、昨年3月14日に設置されて以来、8回の委員会を開催し、CO₂削減に向けての課題をゴミ減量化の観点から検討する中で、特に十分な取り組みが進んでいない生ゴミの減量化について次のとおり提言し、適切な措置が講じられるよう要望しました。

ゴミ減量化についての提言 (前文省略)

1 生ゴミ減量化への取り組み

- (1) 生ゴミ処理機等の一層の普及促進を図ること。
- (2) 各小学校において、学校給食の残菜を大型生ゴミ処理機等で堆肥化し、学校菜園等で利用することにより、ゴミ減量化を進めるとともに児童への環境教育の機会とすること。
- (3) モデル地域を定めて、食品残渣のリサイクルシステムに取り組み、市全体の取り組みへの研究を進めること。
- (4) 事業所からの食品廃棄物のリサイクルの推進を図ること。

2 市民への周知啓発、支援

- (1) アンケート調査等を通じて市民意識の動向把握を図るとともにゴミ分別、減量化への意識啓発を図ること。
- (2) 食用廃油回収等の市民のゴミ減量化に係る取り組みを広く市民に広報し、支援すること。
- (3) 家庭からの生ゴミのうち手つかずの食品が少なくないことから、生ゴミを出さない調理方法等の普及啓発やもったいない思想の啓発、推進を図ること。

平成24年3月2日

亀岡市長 栗山 正隆 様

亀岡市議会環境対策特別委員会 委員長 中村 正孝

環境対策特別委員会
ゴミ減量化について市長に提言しました



平和人権対策特別委員会は、京都犯罪被害者支援センターへの視察を行うなど、調査を進めてきました。犯罪被害者等は、周囲の不用意な発言などによる二次被害も受けやすく、精神的な負担は多大になっています。そのような人権侵害を防ぐために、政策提言を行い、適切な措置が講じられるよう要望しました。

犯罪被害者等支援に関する政策提言 (概略)

1 担当窓口の設置

被害者等が安心して相談ができるよう、総合的な対応窓口を設置し、犯罪被害者等の状況や意見、要望を一元的に把握し、庁内外関係機関との連携や調整を行うこと。

2 民間との連携を重視した制度づくり

財政的支援等を含めて、民間支援団体等を支援すること。

3 広報啓発活動の充実

- (1) 被害者等が必要な支援を受けられるよう、広報の充実に努めること。
- (2) 被害者等の心理状態等に対する周囲の理解を促し、二次被害を防止するための広報啓発活動を積極的に行うこと。

平成23年12月13日

亀岡市長 栗山 正隆 様

亀岡市議会平和人権対策特別委員会 委員長 酒井 安紀子

平和人権対策特別委員会
犯罪被害者等支援について市長に提言しました